

各関係機関の長 殿

国立感染症研究所長  
(公印省略)

研究職員の公募について(依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、この度当所では下記のとおり研究職員を募集することになりました。  
つきましては、貴下職員にご周知下さるようお願い申し上げます。

記

1. 職名等

職名	業務内容	応募資格
細菌第一部 主任研究官 (募集人数1名)	<p>細菌第一部では、次に掲げる事務をつかさどる。</p> <p>1. 病原細菌(主に腸管感染症、呼吸器感染症、泌尿生殖器系細菌、全身性細菌感染、口腔内細菌感染に関わる)の分類及び同定に関する研究、迅速診断法及び分子疫学的手法の開発研究、並びにそれらを用いての細菌感染症の流行解析を行うこと。(これらに関するレファレンス業務を含む。)</p> <p>2. 上記病原細菌並びにその感染症の病原性・発症メカニズムの解析、並びにそれを利用した病原体診断・検査、治療、及び予防法を開発を行うこと。</p> <p>3. 上記病原細菌に起因する感染症に関し、予防、治療及び診断に関する生物学的製剤の生物学的検査及び検定、並びにこれらの生物学的検査及び検定に必要な標準品の製造並びにこれらに必要な科学的調査及び研究を行うこと。</p> <p>第一室においては、以下の業務をつかさどる。</p> <p>1) 病原性大腸菌の細菌学的研究(分離・同定・血清型別および系統解析、病原性遺伝子の同定・機能解析・発現制御解析および分布解析)。</p> <p>2) 腸管出血性大腸菌の分子疫学的解析(MLVA法、PFGE法、全ゲノム配列を用いたSNP解析法等)による広域集団発生事例の早期探知と感染拡大防止への貢献</p> <p>うち採用予定官職では、次の業務を行う。</p> <p>1. 病原性大腸菌に起因する感染症(特に下痢症、食中毒)に関し、病原及び病因の検索並びに予防及び治療法に関する研究(これらに関するレ</p>	<p>(1) 病原性大腸菌のゲノム疫学研究実績を有すること。</p> <p>(2) 病原体検査やサーベイランス業務に関して強い意欲を有すること。</p> <p>(3) 国際協力への意欲、ならびに貢献できる語学力を有すること。</p> <p>(4) 大学院博士課程修了後、4年以上の学位(博士)取得者、若しくは同等と認められるもの。 *上記(1)から(4)を全て満たすもの</p>

	ファレンス業務を含む) 及び講習。 2. パルスネットや病原体ゲノムデータ等を用いた分子疫学的解析。	
--	---	--

## 2. 提出書類

- (1) 履歴書 (市販用紙使用、高等学校卒業以降を記入し、写真を貼付。)
- (2) 主要研究概要 (1,200字以内)
- (3) 応募職の業務内容に関する抱負 (1,000字以内)
- (4) 業績目録 (A4版縦横書き、別紙参照)
- (5) 論文別刷 (3編以上)
- (6) 学位記 (写し) 又は学位を証明するもの (A4に縮小すること)

## 3. 書類提出先及び提出方法

〒162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1 国立感染症研究所 所長 脇田 隆字

※応募書類の封筒に、「細菌第一部 主任研究官 応募」と応募職名を朱書きの上、所長宛て親展として書留にて郵送してください。なお、提出された書類は返却いたしません。

4. 応募締切日 令和3年8月4日 (水) 必着

5. 採用予定日 令和3年11月1日 (予定)

6. 勤務地 国立感染症研究所 戸山庁舎 東京都新宿区戸山1-23-1

## 7. 処遇

- (1) 給与は、「一般職の職員の給与に関する法律 (昭和25年法律第95号)」等に基づき、学歴経歴等を勘案して決定します。
- (2) 1週間当たりの勤務時間は、38時間45分 (週休2日制) です。
- (3) 年20日の年次休暇 (採用の年は、採用の時期により20日より少ない日数となります。) のほか、特別休暇 (夏季・結婚・忌引・ボランティア等)、病気休暇の制度が整備されています。

## 8. 選考採用試験スケジュール

- (1) 第1次審査 (書類選考) 令和3年8月上旬 (予定)
- (2) 第2次審査 (面接試験) 令和3年8月下旬 (予定)

※ 第1次審査 (書類選考) を通過された方には、当方から第2次審査 (面接試験) に関する連絡をいたします。

## 9. 問い合わせ先

国立感染症研究所 総務部人事課人事第一係 刑部  
 03-4582-2625 E-mail:jinji@nih.go.jp

## 10. 国立感染症研究所ホームページURL

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>